

委員会 視察報告

議会運営委員会

岡村 隆委員長

令和7年10月29日(水)～30日(木)

議会運営委員会では、神奈川県茅ヶ崎市と横須賀市の両市における『議会基本条例の検証』などを視察しました。

茅ヶ崎市では、平成20年に発足の「議会制度検討会」によって、議会基本条例を作成されており、その後も条例の検証等を定期的に行われているとのことでした。また、市長への政策提言については、議会自身が政策提言能力を持つようこれまでに議会改革が行われ、現在までに政策提言が6回実施されているとのことでした。

横須賀市では、令和5年10月に「議会基本条例検証特別委員会」を設置し、例えば包括的パートナーシップ協定を締結している関東学院大学の外部委員からの評価も加え、より客観的かつ納得性の高い検証を行っているとのことでした。



福祉環境委員会

星野光男委員長

令和7年11月12日(水)～13日(木)

福祉環境委員会では、佐賀県佐賀市の『下水道事業における処理区域の見直しに伴う浄化槽への転換』、同県武雄市の『婚活支援事業』、長崎県長崎市の『ふれあい訪問収集事業』を視察しました。

佐賀市では、下水道事業の今後の展望として、人口減少による収入減少は確実であることから、施設統廃合や料金設定についても検討を始めるとのことでした。

長崎市では、平成12年からふれあい訪問収集をスタートしており、福祉部局と環境部局が連携することで、対象者情報を共有し、ゴミの個別収集と安否確認の声掛けを行っているとのことでした。

武雄市では、県内外の事業所などにパンフレットなどの設置を行うことで広報が積極的に行われてあり、登録者数は463名となっているが、市内在住の女性登録者を増やす何らかの工夫をしていきたいとのことでした。



総務経済委員会

石森啓司委員長

令和7年11月17日(月)～18日(火)

総務経済委員会では、秋田県仙北市の『グリーンツーリズム、農泊推進による地域活性化の取組』などを視察しました。

秋田県仙北市では、実際に農家民宿を訪問し、受け入れ家庭の生活様式や体験プログラムの現場を確認しました。受入側と訪問者の交流の様子、生活感を重視した運営が特徴的であり、農家の方々が主体的に取り組む姿勢や、地域全体で受け入れる体制づくりが成功の鍵となっていることが確認できました。本市での農泊推進に向けた課題（担い手確保、体験プログラムの多様化など）について活発な意見交換を行いました。



教育スポーツ委員会

村上隆一委員長

令和7年11月13日(木)～14日(金)

教育スポーツ委員会では、滋賀県近江八幡市の『コミュニティスクール』と奈良県天理市の『子育て応援・相談センター～ほっとステーション～』を視察しました。

近江八幡市では、令和元年度から学校運営協議会を設置し、コミュニティスクールとして学校と地域が協力しながら学校運営が行われています。この協議会には、まちづくり協議会も参画しており、地域全体が学校経営を強固に支える組織体になっているとのことでした。

天理市では、以前から教職員の退職・休職に対する課題があったことから、保護者対応の場としての「ほっとステーション」が開設されました。「こどもまんなか」の視点も踏まえながら、第三者である専門家による対応を行うことで、結果として保護者対応による退職・休職者がゼロとなったとのことでした。

